

絵本のよみかたりと ペーパークラフトで体験的に学ぶ自然  
**京都丹波高原にくる渡り鳥たち**  
**(冬鳥編)**

毎年、冬にやってくる渡り鳥を「絵本のよみかたり」と「写真」にかさねて解説します。

さらに「羽ばたく紙飛行機」を作って、渡り鳥の気持ちになって渡りゲームを体験するワークショッププログラムです。

日時

2025年2月8日(土)

①10時30分～ ②13時～

場所

南丹市立中央図書館 絵本の部屋

プログラム

- ・写真と絵本でみる京都丹波高原国定公園
- ・絵本で学ぶ渡り鳥(冬鳥)
- ・つくって知る 渡り鳥ゲーム

定員

各回20名(予約不要・参加費不要)

対象

未就学児～小学生

ぱたぱた羽ばたくよ!

# 冬にやってくる渡り鳥たちって？

日本に寒い冬がやってくると、もともと寒い国や地域からたくさんの鳥たちが日本へやってきます。これらの鳥たちを「冬鳥」と呼びます。

なぜ冬に日本へ来るの？

冬鳥たちが日本へやってくるのは、食べ物や暖かい場所を求めているから。生まれた場所や住んでいた場所が、冬になると食べ物が見つかりにくくなったり、寒すぎて住めなくなったりしてしまうことがあるんだ。

冬鳥はどこから来るの？

冬鳥たちは、シベリアやモンゴルなど、日本よりもずっと寒い地域からやってくる。これらの地域は、冬になると雪が降ったり、湖や川が凍ったりして、食べ物が見つかりにくくなってしまふんだ。

冬鳥の種類

日本にやってくる冬鳥には、いろいろな種類があります。たとえば、カモ類：カルガモ、コガモ、マガモなど。池や川で群れを作って泳いでいる姿をよく見かけます。

ハクチョウ：オオハクチョウ、コハクチョウなど。大きな体と美しい羽が特徴です。

ツグミ：枯葉の中に隠れて虫を探して食べます。



オオハクチョウ



カルガモ



ツグミ

写真出典：Wikipedia

京都丹波高原で一冬を過ごす渡り鳥とその暮らし、渡りなどを絵本を通して親しみやすくお話しします。さらに、お話での学びや気づきのきっかけや思い出しアイテムとして、鳥のように羽ばたく紙ヒコーキをつくり、渡りに見立てたゲームで模擬体験します。

鳥たちの不思議な生態を学び、身近な自然環境への気づきを与えるそんなミニ・ワークショップです。

南丹市立図書館の協力により、冬鳥や渡り鳥の本や図鑑を集めたコーナーも予定しています。

実施主体 京都丹波高原国定公園ビジターセンター運営協議会  
「森を巡る学び舎」事業

協働 絵本よみかたり ユニット大きな木・草の原空想舎  
協力 南丹市立図書館

後援 京都丹波高原国定公園協議会 (京都府・京都市・綾部市・南丹市・京丹波町)

問い合わせ先 京都丹波高原国定公園ビジターセンター

0771-75-9020 kyoto.tamba.kougen.vc@gmail.com



おおきな木

草の原空想舎